



アイズストック大会 ～ 広尾小学校特設会場（2月5日 撮影）

ひろお 議会だより

No 205

2023年3月1日発行

【令和4年第4回定例会】

保健師や看護師等の人材確保へ 修学資金貸付条例

2

一般質問（4人が登壇）

／人工透析治療／ひきこもり支援／新型コロナ

7

常任委員会 釣り文化振興モデル港の運営状況ほか
行政視察

16

議員活動の自己評価を実施

20



町ウェブサイト
「広尾町議会」
QRコード

広尾サンタランドマスコットキャラクター
「さーたちやん」

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

保健師、看護師、保育士、 介護福祉士等の人材確保へ

～医療技術者等修学資金貸付条例の制定～

令和4年
第4回
定例会
12/6～9



町民の健康、子育て、介護福祉の維持・増進を図る

令和4年第4回定例会は、12月6日（火）から9日（金）までの4日間の会期で開かれました。医療技術者等修学資金貸付条例の制定や乳幼児及び児童医療費助成に関する条例の一部改正、公平委員会委員の選任、補正予算などが提案され、審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

療育
介護
医療
福祉
人

医療技術者等を目指す
人に修学資金を貸付

保健師や看護師、准看護師、保育士、社会福祉士、介護福祉士などとして、将来広尾町又は広尾町内の医療機関等で勤務を希望する学生に対して資格を取得するための修学資金を貸付し、町民の健康、子育て、介護福祉の維持・増進と医療や介護などの分野における人材確保を図ることを目的としています。

※令和5年4月1日施行

貸付金額

- ・保健師、看護師
月額10万円以内
- ・准看護師、保育士、社会福祉士、介護福祉士等
月額5万円以内

※いずれも無利子

返還金の免除

- ・保健師、看護師は、貸付を受けた期間の1.5倍に相当する期間勤務した場合に返還金の全部を免除
- ・准看護師、保育士、社会福祉士、介護福祉士等は、

貸付を受けた期間の2倍に相当する期間勤務した場合に返還金の全部を免除

返還の方法

- ・学校又は養成所を卒業後3年以内に総額を返還
- ・貸付の取消しがあったときは、貸付を受けた期間に相当する期間内に返還

問 保健師・看護師と准看護師・保育士とで貸付金額に差がある理由は。

保健師や看護師は4年

答 制大学で資格を取る人が多く学費等も相応にかかる。また、社会的な問題として看護師等が不足しており、貸付金額を増やすことで魅力的な制度にする。

問 返還金の免除期間の担保に差がある理由は。

答 准看護師や保育士は、保健師や看護師に比べて就学期間が短く、要件として勤務する期間が短くなるので差をつけて設定した。

問 3年以内に全額を返還
となっているが緩和措
置は考えているか。

答 資格取得後に広尾町又
は広尾町内で勤務して
もらうことを目的とした貸
付制度であるため、勤務さ
れない場合は返還となる。

その他決まったこと

同意

◆任期満了による公平委員
会委員の選任に同意

高坂光則さん（再任）
松田哲典さん（新任）
（任期）令和4年12月18
日から4年間

財産の処分

◆土地の売却

高規格幹線道路、大樹・
広尾道路工事の事業用地と
して、字紋別314番1の
山林を877万8457円
で帯広開発建設部に売却し
ました。

国保病院中期目標

◆地方独立行政法人広尾町
国民健康保険病院の第2期
中期目標

令和5年度から8年度ま
での4年間で達成すべき業
務運営に関する目標を定め、
当該法人に指示するもの。

計画の変更

◆広尾町過疎地域持続的発
展市町村計画の変更

広尾町公共施設等総合管
理計画の改訂に伴い、引用
している記載内容を変更し
ました。

条例の制定

◆地方公務員法の一部を改
正する法律の施行に伴う関
係条例の整備に関する条例
の制定

定年年齢の引き上げに伴
う「役職定年制」や60歳を
超える職員の給与に関する
事項など関連する条例の改
正等について制定しました。

◆広尾町下水道事業の設置
等に関する条例の制定

公共下水道事業と個別排
水処理事業の2事業をもっ
て下水道事業とし、地方公
営企業法の財務規程の適用
や排水区等を定めました。

◆広尾町下水道事業の剰余
金の処分等に関する条例の
制定

地方公営企業法に基づく
剰余金の処分及び欠損の処
理について定めました。

条例の改正

◆職員の定年等に関する条
例の一部改正

定年年齢を令和5年度か
ら2年ごとに1歳ずつ引き
上げ、令和13年度までに60
歳から65歳に引き上げる改
正をしました。

◆広尾町乳幼児及び児童医
療費助成事業に関する条例
の一部改正

令和5年4月1日から医
療費の助成対象を高校生ま
で拡大し、条例名の「乳幼
児及び児童」を「乳幼児等」
に改正しました。

◆広尾町重度心身障害者及
びひとり親家庭等の医療費
の助成に関する条例の一部
改正

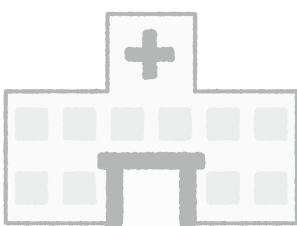
これまで医療費の助成は、
北海道の基準を拡大して所
得制限を撤廃していました
が、北海道と同様に所得制
限を設ける改正をしました。

◆広尾町水道事業の設置等
に関する条例の一部改正

上水道事業と簡易水道事
業の2事業をもって水道事
業とし、公営企業会計適用
に伴う設置条例の整理を行
いました。

◆広尾町水道事業給水管理
条例の一部改正

公営企業会計適用に伴う
条例の整理を行いました。



公共施設照明LED化工事（増額工事分）

	施設名	当初予算額	設計変更後	12月補正額
契約①	高齢者健康増進センター、豊似保育所、広尾小学校、健康管理センター	13,380,000円	16,050,000円	2,670,000円
契約②	役場庁舎・コミセン、生活支援ハウスなごみ、学童保育施設、勤労青少年ホーム、豊似小学校、青少年研修センター、勤労者体育センター、港湾貨物上屋	35,850,000円	42,740,000円	6,890,000円
計		49,230,000円	58,790,000円	9,560,000円

補正予算

一般会計

公共施設LED化工事

956万円

工事費の確定見込みによるもの。工事全体では2本の契約ではあるが、施設ごとに負担行為をしているため、増額工事の施設についての予算を増額しました。

知事・道議会議員選挙費

488万円

令和5年4月に行われる知事・道議会議員選挙の準備が3月から始まるため、今年度分の予算を計上しました。

ゆうゆう舎補助金

89万円

NPO法人の職員待遇改善のため、多機能型事業所ゆうゆう舎補助金を増額しました。

対策協議会負担金

331万円

赤潮対策のため、北海道水産多面的機能発揮対策協議会負担金の広尾町分を追加しました。

秋さけ定置漁業緊急支援

1526万円

定置漁業者の経営健全化を図るため、秋さけ定置漁業緊急支援対策事業費補助

金を計上しました。（※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を一部充当）

広域連携映画製作準備活動負担金

175万円

9月定例会で250万円の補正があり、今回175万円の補正があるが、これまでの累計金額は。また、他の自治体の累計は。今回支出する額を含め

答

1294万8000円。

他の自治体の累計金額は把握していないが、負担割合は、えりも町が5割、浦河町が3割、様似町と広尾町が1割ずつとなっている。

介護サービス事業特別会計

介護サービス収入

△3204万円

施設介護サービス収入の介護保険収入が減額となっているのは、入所者数の減少が原因だと思いが現在の入所者数は。

問

答

現在の入所者数は38人。

問

令和2年度と3年度の退所者数は。また、定員が50人で12人が欠員となっている理由は。

答

退所者数は、令和2年が18人で令和3年も18人。亡くなる方や入所の声掛けをしても見送る方が多く、すぐ入所される方も少ない状況。また、新型コロナウイルスの影響や職員の

退職も続いたことで一時的に入所の受入れが遅れる状況もあった。

職員体制の整備も含めた今後の取組は。

問

慢性的な人員不足が続いているが、特別養護老人ホームと養護老人ホームを対象とした外部のコンサルティングにより、サービスの向上や業務の見直しを行い、職員の確保と定着に努める。

令和4年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑩	82億2947万円	1418万円	減
港湾管理特別会計 ②	1億542万円		増減なし ※歳出の補正
簡易水道事業特別会計 ⑤	1億3933万円	125万円	増
下水道事業特別会計 ⑤	3億6784万円	466万円	増
国保事業勘定特別会計 ⑤	9億6150万円	208万円	増
介護保険特別会計 ⑤	7億2011万円	45万円	増
介護サービス事業特別会計 ⑤	2億6502万円	62万円	増
後期高齢者医療特別会計 ②	1億2817万円	282万円	減
病院事業債管理特別会計 ②	5641万円	105万円	減

※会計名の後の丸数字は補正回数

（1万円未満切り捨て）

村瀬町長からの

行政報告

※内容は要約しています。

広尾毛がにまつりの名称変更

12月11日開催の「第53回広尾毛がにまつり」は、毛ガニの極端な不漁により、「広尾まんぷくまつり」へ変更する。

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 令和3年度施策評価

評価は、38施策、8重点プロジェクトごとに、担当課による1次評価、主管者による2次評価、まちづくり計画推進委員会による外部評価の3段階で実施した結果、別表1のとおりとなった。

評価結果を次年度以降の施策推進に反映し、10年後のまちの目指す姿の実現に向けた取り組みにつなげる。

広尾町過疎地域持続的

発展市町村計画

令和3年度達成状況評価

過疎計画全般に関わる基本目標として、令和7年度を目標年度に「全体人口」と「人口の社会減」の2項目を掲げており、令和3年度の状況は別表2のとおり。また、過疎計画に規定する12の分野ごとに担当課による1次評価、主管者によ

る2次評価、まちづくり計画推進委員会による外部評価の3段階で実施し、「概ね成果が得られた」B評価が5施策、「施策の達成に向けて事業を進めている」C評価が7施策という結果となった。

第2期広尾町総合戦略 令和3年度取組効果検証 及び内容の改定

4つの政策分野ごとに地方創生推進本部による自己評価と、まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進委

員会による外部評価を実施し、「概ね成果が得られた」B評価が1分野、「事業開始前より取組が前進・改善した」C評価が2分野、「取組が前進、改善したとは言えない」D評価が1分野という結果となった。

また、現在農林課で進めている「集いの杜プロジェクト」において国の地方創生拠点整備交付金を活用するため、広尾町総合戦略への明確な位置付けが必要とされていることから、内容の見直しを行った。

菅原教育長からの

教育行政報告

※内容は要約しています。

新型コロナウイルス感染症 による小学校の学校閉鎖

12月5日豊似小学校児童4人の新型コロナウイルス感染を確認した。その他の児童も風邪症状で欠席しているため、同校を12月7日から11日まで閉鎖する。

意見書1件を可決

国等へ提出

※内容は要約しています。

①

物価高における農畜産物の適正な価格形成と農業経営の存続に向けた需給改善対策等の強化に関する意見書

提出者 浜野 隆議員

牛乳乳製品の需要減退による需給緩和が深刻化し、農業経営環境は日々厳しさを増している。

食料安全保障の強化に向けて、コスト高に係る農畜産物の適正な価格形成が可能な環境整備と農業者の経営継続に向けた需給改善対策等を講じることを要望する。

提出先

内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

次のページは「議員の出欠」
「一般質問」「人工透析治療・中古住宅」

令和4年第4回定例会 議案審議結果

●第4回定例会では、賛否のあった議案はありませんでした。(全て全会一致)
※全会一致した議案の掲載は省略しています。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(令和4年9月定例会終了後～令和4年12月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
11/29	第4回臨時会(条例改正・補正予算など)		○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○
12/6	第4回定例会(条例制定など)		○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○
12/8	第4回定例会(一般質問)		○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○
12/9	第4回定例会(補正予算など)		○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○
開催日数計		4日	出席日数計		4	4	4	4	0	4	4	4	4	4	4

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：所属外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
10/31 ～ 11/1	産業常任委員会行政視察(苫小牧市)		○	ー	ー	ー	○	○	×		ー	○	○	ー	ー
11/2	第4回総務常任委員会		ー	○	○	○	ー	ー	ー		○	ー	ー	○	○
11/4	議会広報編集会議		ー	ー	ー	○	×	○	×		○	ー	ー	○	ー
11/10	第5回議会広報特別委員会		ー	ー	ー	○	○	○	○		○	ー	ー	○	早
12/1	第7回議会運営委員会		ー	○	○	○	ー	ー	○		○	ー	ー	○	○
12/9	議会広報編集会議		ー	ー	ー	○	×	○	○		○	ー	ー	○	ー

※議長の委員会への出席

堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、いずれの委員会にも随時出席し、発言することができるため、出席した委員会は「○」と表しています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：対象外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
10/3	南十勝町村議会議員研修会		○	○	○	○	×	○	×		○	×	○	○	○
10/17	第11回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×
10/18	議会モニター会議(1班)		○	ー	○	○	×	ー	ー		○	ー	ー	○	○
10/26	広尾町議会議員等研修会		○	○	○	○	×	○	×		○	○	○	○	○
11/7	第12回議員協議会		○	○	○	○	×	○	×		○	×	○	○	○
11/21	議会報告会(豊似・1班)		○	ー	○	○	×	ー	ー		○	ー	ー	○	○
11/21	議会報告会(音調津・2班)		ー	○	ー	ー	ー	○	×		ー	○	○	○	○
11/24	第13回議員協議会		×	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○
11/24	議会報告会(コミセン・全議員)		○	○	○	○	×	○	×		○	○	○	○	○
11/29	第14回議員協議会		○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○
12/6	第15回議員協議会		○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○



一般質問

12月定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。
※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

各議員の一般質問は録画中継にてご覧いただけます▶



まえの 茂 議員

町長

人工透析治療の 早期施設整備を

治療開始に向け、 計画を策定する

質問

広尾町国保病院の
第2期中期目標期

間中に人工透析の治療体制を構築すると計画目標に明記された。現在、大樹町や帯広市の医療機関で人工透析治療を受けている方が25人程度おり、自家用車で通院することが困難になり、タクシーに切り替えた方もいる。

遅くとも令和9年度からの供用開始となるが、通院治療されている方は、1年でも、1日でも早い、施設整備を待ち望んでいる。早期の施設整備と規模等などのように考えているか。

答弁

村瀬町長

施設整備については、改修するか増築するか、建設場所等も今のところ決まっていないが、現在の患者の規模を見込むところである。今考えているのは、ベッド7床、月水金と火木土の2部体制。

透析治療体制の整備は、

専門医と医療スタッフの人材確保や関係町村・関係機関との協議など、課題は小さくない。日常的に通院されている方が、身近なところで安心して透析治療を受けられるよう、第2期中期目標期間中に透析治療が開始できるよう、国保病院が具体的な中期計画を策定するので、しっかりとした構築をしていきたい。

中古住宅購入にも

助成すべきでは

町長

令和5年度から

補助対象の追加検討

質問

本町の建築業者が
施工した住宅リ

フォーム工事は、10万円を限度に助成し、昨年度までの9年間で、延べ助成件数は407件、総工事費は、6億5870万5000円となっている。助成金額は3651万1000円と地元建築業者等の振興と雇用の創出が図られた。

また、昨年度からは新築住宅取得に対しても50万円を限度に助成をすることになった。

11月に開催した議会報告会では、現行では中古住宅を購入した場合は助成対象にならないため、対象にするよう要望があった。

中古住宅購入の際も助成対象にすべきでは。

答弁

村瀬町長

町内の住宅関連産業を中心とした経済の好循環が図られることを目的に、平成25年度から住宅新築・リフォーム支援事業を開始し、令和3年度からは新築の住宅や建て売り購入に対しても助成を拡充した。

中古住宅購入に対する助成の拡充については、令和4年11月開催の商工振興懇談会において、工業部会より要望が出されたところである。

商工会工業部会からの要望、町内経済の循環や空き家対策など多様なニーズを考慮し、中古物件取得後の居住を条件に令和5年度から補助対象の追加を検討している。



まつだ 松田健司 議員

ひきこもり 相談窓口の一元化を

町長
相談の
支援体制を充実

質問

2019年に内閣府が行った生活状況に関する調査では、ひきこもりの方の出現率が1・45%との報告があり、その推計割合を本町に当てはめると60人以上の潜在的なひきこもりの方がいると推測できるが、様々な要因から実態把握が難しい現状も認識している。

状況を改善するには支援や相談の窓口を一元化し、取組の内容が当事者に広く伝わるよう粘り強い継続的な広報活動と社会参加に向け、現場の実状を汲んだ体制の強化が必要だが、その考えは。

答弁 村瀬町長

今年度から「重層的支援体制整備事業」を開始したことを契機に、支援機関の協働とアウトリーチによる相談支援を基盤とする「新たなひきこもり支援」に取り組んでいる。

相談支援体制を充実させ、安心して過ごせる居場所や自らの役割を感じられる機会をつくることによって、ひきこもり状態にある方やその家族を受け止める地域社会を作っていきたい。

※重層的支援体制整備事業

複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築し、属性（高齢・障害・子ども・生活困窮など）を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施すること。

どうする！

町営キャンプ場の再開

町長
再開を検討中

質問

来年度の当初予算に盛り込むには時期的に方向性が決まっていないと間に合わないと思うが、役場内での合意形成に向けた議論の内容や今後の見通し、また再開に向けて明確になった課題的を絞ったワークショップやアンケートを複数回実施し町民から多様な意見を集めて、議論の参考にすることも必要だと思うが、その考えは。

10月20日に行われたサイドパークキャンプ場についてのワークショップで出された町民からの意見やアイデアをどのように活用していくのかを教育長に伺う。

答弁 村瀬町長

7月と10月に会議や町民ワークショップなどを開催し、アウトドアやキャンプに対する町民の意識を探った。

これらの結果を踏まえ、関係する4課（社会教育課・企画課・水産商工観光課・農林課）での検討会を行い、計画の柱となる骨子を作成することとした。現在、社会教育課が中心となり調整を行っているが、現時点での骨子案はキャンプ場の存続を前提としたうえで、再開に向けて、民間活力を活用しながら魅力向上を図っていくという内容。

キャンプ場の再開にあたっては、多額の改修費がかかるなど多くの課題もあるが、



キャンプ場再整備に向け検討中

答弁 菅原教育長

アウトドア資源としての魅力を高め、地方創生の起爆剤として有効活用していくため、教育委員会とも連携し進めていきたい。
キャンプ場をどういう形態にするのかというところは、検討中。構想がまとまり次第、町民の皆様周知する。

ワークショップでは「キャンプ場を再整備してほしい」とのことであった。また、キャンプ場整備にあたってのビジョンについても多く意見交換が行われた。

ワークショップで出た意見は、キャンプ場の再開が決定した場合、再整備に反映できるようにしていく。



おだ 小田雅二 議員

「技術の進化に伴う対応は

町長 利便性向上のため導入を進める

質問

道内で認知症高齢者の見守りや検索

につながる機器を導入・貸与している自治体は44市町村になる。GPSによる現在位置の確認やQRコードの利用で身元の特定を容易としている。

また、上土幌町ではモバイル商品券、幕別町では電子通貨を導入している。これは、今までプレミアム付商品券として住民が利用していたものを、スマホを利用して決済するものである。ペーパーレス化による経費の削減、商工会や町と業者間の事務手続きも省力化となる。

町としても、他町村に遅れることのない対応が迫られていくと思うが。

答弁

村瀬町長

昨年度は、光ファイバー回線網の未整備地区における整備が完了し、町内全域において、高速通信網が利用できる環境が整った。

今年度は、母子健康アプリサービス、窓口申請支援システム、WEB版防災ハ



開発中のWeb版防災ハザードマップ（4月に公開を予定）

ザードマップの構築にも取り組んでいる。

町民の利便性向上に向けて、できるところから先端技術の導入を進めている。

令和3年には、政策提言や事務の効率化を図る目的で、職員提案制度を設けた。職員のアイデアを募集しながら、職場の活性化を図っていきたいと思っている。

今後、先端技術の導入・推進に当たっては、外部の専門人材の活用や各産業分野の理解、協力が必要である。先進的な自治体の取組も参考にしながら、各分野の課題について先端技術を活用しながら、どのように解決していくか、町民の目線に立ち分野を横断して考えていく。

ワクチン接種副反応の対応は

町長

かかりつけ医に 相談判断を仰ぐように

質問

接種後の副反応による死亡について

国は因果関係が認められないとの一点張りだが、既に2000人が亡くなっている。

このため、いくつかの自治体の首長は住民に対して接種についてより慎重な判断を求めている。

大阪府の泉大津市の南出市長は、個人的な意見として、ワクチンの必要性や合理性に明確に否定的な考えを表している。

また、国に対し12人の遺族による集団訴訟も起きている。

行政側の対応として、新しい段階にきていると思うが、町としてはどのように考えるか。

答弁

村瀬町長

新型コロナウイルスの接種については、国の指示に基づき、引き続き予防接種事業を推進していく。

ワクチン接種の判断については、各個人が判断をすることであり、その判断材料については、希望される方へ国からの考え方を示している。さらに、それだけでは不安だという方については、かかりつけ医などそういった専門の方に相談し、判断を仰ぐようお伝えしている。

乳幼児のワクチン接種については、本町では12月2日から接種を開始しているが、希望があった方に対し接種券を発送しているため、一律に皆さんに接種券を発送しているわけではない。



はたて 旗手恵子 議員

コロナ感染拡大での飲食店等の支援を

町長 関係団体と協議 効果的の支援を検討

質問 5歳以上12歳未満の接種対象者のうち、2回目、3回目の接種率が低い、小さい子どもを持つ親御さんは、副反応を心配しているのでは。副反応の実態は。

北海道では医療機関の受診の集中を緩和するとして、全数把握を中止し、65歳未

満の症状のある人は、北海道陽性者登録センターに連絡し、抗原検査キットが送付されるとなっているが、どの程度かかるのか。スマホやパソコンを持つていない方への情報提供など、丁寧な説明が必要では。

感染拡大で飲食店等の集客が減少し、現状では、国の給付金もない中で、営業が大変と聞いている。売上げ減少に係る今後の支援はどのように考えているか。

答弁 村瀬町長 小児用ワクチンの接種率は、11月末時点で2回目の接種完了者が全国の19・1%に対し、広尾町は28%であり全国と比較した場合、広

尾町の接種率は低くない状況となっている。

副反応の実態については、接種を担当した医療機関に聞き取り調査を行った。今までに接種後の副反応と思われる相談はなく、軽微な副反応があった場合においても、ご家庭で経過を見ているなどの対応ができていたとの回答であった。

2点目の北海道の検査キットによる自己検査の申し込みについては、申し込みから自宅に届くまで、2、3日かかると聞いている。自費で購入される方は、町内の薬局において医療用抗原検査キットの一般用販売が開始されていることを案内している。陽性者の登録や療養支援については、北海道の取り扱いとなるが、主

一般質問とは…

議員が定例議会で町長などに執行機関の考え方について、報告や説明を求めたり、疑問をただすことです。広尾町議会では1回目が一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。



体的にスマートフォンやパソコンから情報を得られない方への対応として、複数回、町広報誌への掲載や折込チラシを通じて周知しているところである。

新型コロナウイルスの影響は本町の地域経済に与える影響も多大なものがあり、雇用の維持や事業の継続のため、各産業団体などと協議のうえ、地方創生臨時交付金を活用した各種の緊急経済対策を特に飲食業を中心に実施してきたところである。今後も関係団体と協議のうえ、各方面の情報収集に努め、効果的な支援が図られるよう検討していく。

議会モニター募集

平成27年度から議会改革の一環として議会・議員の活動や議会運営などについてご意見をいただく「議会モニター」制度を導入しています。

- ◇対象：議会運営や町政に関心のある満18歳以上の町民
- ◇募集人員：12人
- ◇任期：令和5年6月から2年間
- ◇内容：本会議を傍聴し議会運営に関することや議会だよりなどについてのご意見・ご提言を「議会モニター会議」で議員と意見交換をします。

お問い合わせ
議会事務局
(☎ 2-0180)



町民の声を

議会運営に反映

～議会モニター会議～



議会モニター7人、議員6人が出席して、議会の傍聴の感想や議会運営・議員活動について要望や意見を交換しました。

※意見は抜粋して掲載しています。

岩田 10月の議員研修会に参加して、講師の方が議会は相当重要な位置付けと話していた。人口減の対策

など議会独自で構想を出して、町を改革してほしい。

議会 人口減は大変なこと。十勝管内でも、人口が増えている町村がある。我々

議員も勉強しなければならぬ。人口問題の意見や考えがあれば教えてほしい。

鈴木 広尾高校へ入学を希望するお子さんが少ない。

今、小中学校に通っているお子さん・保護者へ広尾高校の卒業生の進路や職業などをひとつと具体的に伝えては。

議会 子育て支援、高校生への支援など、いろんな施策を行っている。交流人口から始まり、移住・定住に繋がってほしい。今後も

それらについて町に要望していきたいと思っている。

大庭 移住体験住宅の利用者はたくさんいるのに、なぜ移住しないのか。1か月滞在している利用者もいる。来てもらって良かったね、ではこの先困るのではないか。利用者に「なぜ移住しないのか」聞かないと、次につながらないのではないか。

上野 移住してくる人は、小さい子どもがいる人も多い。仕事があつて、子どもを育てやすい、住みやすい環境を親は希望している。

小柳 高校を選ぶのに、今の中学生や保護者は部活動や青春の充実度、子どもの生きがいを重要視している印象。広尾高校に行くと楽しい・こういった経験が

できるというPRを高校と協力して行つては。

議会 移住や人口減、高校の存続は非常に難しい問題。企業としての人材確保も大変になっている。官民一体で情報共有していかないといけないと思う。

菊地 私自身も移住者であり、雇っているスタッフも移住者。子育てはしづらい。これから子どもが生まれる世帯、子育て世帯が住みやすい町にならないと移住者は来ないと思う。実際に移住してきた方が抱えている意見を聞く機会を作つては。

上野 議会報告会のやり方を見直してはどうか。冒頭の議員からの説明が長いので、簡素化しては。貴重な時間なのだから、町民との意見交換の時間に長く使つてほしい。

鈴木 広尾町で公式LINEを始めないのか。ほか

議会 次回、そういった方向になるかと思う。

の自治体でやっていて、広尾町で進まないのは歯がゆい。議員からの働き掛けでどうにかならないのか。先進的な取り組みをしているというのが、若い人が広尾町に残ったり、戻ってきたりする指針になると思う。

議会 アプリの開発等いろいろな自治体でやっている。広げ過ぎると情報漏えいなど危険性はもちろんあると思うが、今のところ目立った例はない。やれば良いと思うことはあるので、今後も一般質問していきたい。

議会 スピード感を持って、事業に取り組むのであれば、企業に業務委託するのが早いと思う。

鈴木 菊地さんがやっているピロロフェス、すごい取り組みだと思う。もっと町民が協力しても良いと思う。

議会 民間出発のイベントが広尾町のイベントになると素晴らしい。成功例を参考にしながら動いていきたい。

令和4年第4回臨時会

11/29

令和4年第4回臨時会が11月29日に開かれ、専決処分
の承認、条例改正、補正予算
など議案16件を審議。原案のと
おり承認・可決し、閉会しまし
た。

物価高騰支援策

物価・賃金・生活総合対策として、電気・ガス・食
料品等の価格高騰による負
担増を踏まえ、次の臨時措
置を行います。

高齢者世帯等給付金

192万円

令和4年度の福祉灯油助成事業の支給対象のうち、
令和4年度住民税非課税の
高齢者世帯、障がい者世帯
及び生活保護世帯に対して、
1世帯あたり1万2000

円を支給します。

水道基本料金減免

1640万円

物価高騰の影響を受ける
町民世帯及び町内事業所の
令和4年11月分から令和5
年2月分までの水道基本料
金を減免します。



電力・ガス・食料品等 価格高騰緊急支援

5500万円

低所得の高齢者及び障
がい者世帯等に対して1世帯
あたり5万円を支給します。

原材料等価格高騰緊急 支援金

4809万円

原材料や原油価格の高騰
で経営が圧迫されている事
業者に支援を行い、事業の
継続と雇用の確保を図りま
す。

- ①農業生産資材等高騰対策
支援事業
- ②原材料等価格高騰対策林業
事業体緊急支援金支給事業
- ③原材料等価格高騰対策漁
業緊急支援金支給事業
- ④原材料等価格高騰対策中
小企業緊急支援金支給事業
- ⑤原油価格高騰対策運送事
業者緊急支援金支給事業

問

農業生産資材等高騰対
策支援事業で町の補助
額の上限が3000万円と
なっているが、積算根拠は、
全体を積み上げた農協
の6000万円という

答

事業費の中で、町として2
分の1の補助金を支出する。
酪農は1頭あたり2800
円、生産資材については生
産者ごとに農協が積算した
もの。

議員・特別職・ 職員の給与を改定

人事院勧告及び特別職報
酬等審議会の答申に基づき、
議員及び特別職の期末手当
支給率を0・1か月分、職
員（再任用含む）の期末勤
勉手当を0・1か月分、初
任給及び若年層の職員の給
与月額を平均0・3%引き
上げました。

期末勤勉手当の支給率

	改正前	改正後
議 員	4.20月	4.30月
特 別 職	4.30月	4.40月
職 員	4.30月	4.40月
再 任 用 職 員	2.25月	2.35月

令和4年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑧⑨	82億4365万円	9734万円	増
簡易水道事業特別会計 ③④	1億3807万円	(1万円未満の増)	
下水道事業特別会計 ④	3億6318万円	6万円	増
国保事業勘定特別会計 ④	9億5942万円	56万円	増
介護保険特別会計 ④	7億1965万円	46万円	増
介護サービス事業特別会計 ④	2億6440万円	384万円	減
水道事業会計 ③④			
収益的収入	1億5765万円	24万円	増
収益的支出	1億6621万円	32万円	増

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

行政報告

町税の徴収誤り

11月分の住民税、固定資産税、国保税の「ゆうちょ銀行」振替分を誤って引き落としたもの。原因は令和3年度の情報を利用したことで、該当者は44人198万8000円。

投票区の変更

投票区域を統合し、9か所から7か所へ変更する。
第3投票区（漁村環境改善総合センター）は第1投票区（商工会）と第2投票区（老人福祉センター）のいずれかに、第8投票区（紋別研修センター）は第7投票区（農村環境改善センター）と統合する。

新型コロナウイルスワクチン接種状況

新型コロナウイルスワクチンの接

種状況は下記のとおり。

オミクロン株対応ワクチンは、9月28日から接種を開始し、2回目終了者で3回目以降に接種をした人数は1653人となっています。

新型コロナウイルスワクチン接種状況（11月25日現在）

区分	対象者(人)	接種終了回数	接種者(人)	接種率(%)
12歳以上	5,834	2回	5,424	93.0
		3回	4,849	83.1
		4回	3,508	60.1
5歳以上 12歳未満	268	2回	75	28.0
		3回	43	16.0

※接種対象者は10月末現在

医療費助成の拡大を 決議1件を可決

※内容は要約しています。

議決 乳幼児及び児童医療費 助成事業の拡大に関する決議

提出者 山谷昭夫議員

平成27年度から独自事業として中学生までを対象としている医療費の全額助成制度を、高校生まで拡大するとの方針は、子育て支援のほか、広尾高等学校の生徒数確保に向けた支援策の一環として資することから、事業の取組を推進していくことを望む。

令和4年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑪	83億1055万円	8108万円	増
簡易水道事業特別会計 ⑥	1億3981万円	48万円	増

※会計名の後の丸数字は補正回数

（1万円未満切り捨て）

令和5年 第1回臨時会

1/30

令和5年第1回臨時会が1月30日に開かれ、補正予算2件を審議。原案のとおり承認・可決し、閉会しました。

出産・子育て応援給付金
300万円

妊婦・子育て家庭に対する相談支援と経済的支援を一体として実施し、経済的支援として、出産・子育て応援給付金（妊娠届出時5万円と出産届出時5万円の計10万円）を支給します。

問 途中で他市町村へ転出した場合の取扱い。

答 妊娠した際、広尾町に住んでいた場合は5万円の支給、出産前に他町村へ転出した場合は、転出先で5万円の支給となる。

シーサイドパーク・アウト
ドア施設整備基本構想・基本計画策定
100万円

問 運営は外部委託となるのか。また、どのような構想や町民への還元があるかも業者に委託するのか。

答 外部委託となるが、今までの経緯を含め、委託先から出された基本計画・基本施策は庁内で検討し、実施することになる。

行政報告

国保病院の集団感染

国保病院で新型コロナウイルスの集団感染が発生し、令和4年12月11日から入院受入と夜間・休日の救急患者受入れを停止、12月14日から21日までは外来診療も休止した。

普通交付税の追加交付

令和4年度の普通交付税の追加交付額は、6078万7000円で、総額3億7215万9000円となり、前年度と比べ1595万2000円の増となった。

次のページは
「議会報告会」

より開かれた 議会に 議会報告会を開催



11月21日・音調津会場8担当2班

議会・議員活動や議会での審議内容を町民の皆さんへお知らせする「議会報告会」を11月21日、24日の2日間、町内3会場で開催し、33人に参加いただきました。

今年は、主に「議員定数・報酬」及び「第6次まちづくり計画」をテーマに懇談を行いました。

参加いただいた皆さんから、会場やアンケートでお寄せいただいた内容をご紹介します。

(紙面の都合上、全ての内容を掲載することができないことをご了承願います。)



●議会報告会参加者数の推移

	平成30年	令和元年	令和4年
参加者数	74人	48人	33人

会場アンケートでの ご感想

○ポイントを絞りゆっくり、丁寧に説明して頂きわかりやすかった。
○具体的な問題に対しての意見が色々出て良くわかった。

○帯広・広尾道を早く開通してほしい。議員さん一つ

となって頑張ってください。

○議会報告会前に広く告知して、もっとたくさんの人に参加してもらえると良い。

当日会場で出された ご意見・ご感想など

○参加者 ●議会

【議員定数・議員報酬】

○議員のなり手不足は、やりたくて立候補しても選ばれない。知り合い、親戚の多い人が優位だ。地区から何人とか、議員の講習会を開き育成するなど改革をしたらどうか。議員報酬をどう思っているのか。

●報酬が少ないから頑張ら

ない、多いから頑張るということではなく、置かれた立場で常に全力でやっている。

●兼業などをしている人は、落選しても会社が面倒を見るなどあれば良いが。

○議員報酬を削減したいきさは。

●平成16年、危機的な財政状況を乗り越えるため、行政改革の施策として、職員給与・理事者の報酬を削減した。理事者の報酬の削減率を勘案し、議員の提案で報酬を削減した。

○なり手不足の解消として、報酬の引き上げをしている町もあるが、広尾町はどうしたいのか。

●なり手不足の解消と報酬については、非常にデリケートな問題であり、多くの意見を聞かせていただき、結論を出したい。

【第6次まちづくり計画】

○防災公園のことを教えてください。

●防災公園は、全体で約3万6000㎡。令和4年度に基本設計、令和5年度に実施計画、令和6、7年度に工事を実施し、令和8年度に一部供用開始を予定している。事業費は5億円弱になっている。駐車場100台、室内遊技場、トイレ、キックバイク、バスケット、水遊び場、散策路、防災倉庫を計画している。

○4億9000万円の予算の説明をお願いします。

●防災を兼ねた施設なので、国庫補助金が約2億円、過疎対策事業債で約2億7000万円借り、町からの手出しが少なくなるよう計画。

●建設と維持管理は、議会としてもしっかり議論しなければならぬ。

○防災公園の中に観光交流施設建設の計画があるが、道の駅はどうするのか。

●観光交流施設での、物産

販売や広尾町のPRをする計画をしているようで、特に町外からの集客を目的としているようだ。現時点で詳細は示されていない。

【その他】

○合同墓のことを2年前に要望した。今後どうしたらいいのか悩んでいる。広尾町にも設置してもらいたいが、その後どうなったか。

●他の町民からも永代供養や納骨には多額の費用が掛かると聞いており、以前議会で取り上げ、一般質問した。子ども達が広尾から離れていく家庭では切実な問

題であり、今後も引き続き議会でも取り上げていきたい。

○移動図書館が来ているが、利用者が見当たらない。無駄なことかと思うが。

●本離れがあることは、悲しい現象である。人を引き付けるような働きかけが必要で、模索しながら続けていくことが大事。図書館にも伝えていく。

○議会報告会にこれだけの参加者しか来ないことをどうとらえているのか。

●議会報告会の参加者が少なくなっている。内容のマンネリ化も感じている。様々な意見を聞きながらやっていきたい。

○十勝港に津波が来たらどうするのか。

●岸壁を上げることや防潮壁は、船がつけられなくなり港の機能がなくなるためできない。科学的な検証が必要かと思う。

○町で住宅リフォームや住宅新築に補助金を出しているが、中古住宅の取得にかかる購入費用に対しての助成がない。

●空き家の需要はあり、中古住宅を購入したいという話を耳にすることもある。我々がしっかりと勉強して、こういった補助が可能なのか考えていきたい。

○起業したい知人が役場に聞きに行ったら、ハードルが高く難しい。お金を使わせないでほしい。移住してなければダメなど、事業を起こしたい人には疑問だ。

●起業家支援は、借りる人がしっかりと計画を立て、3年間は営業しなければならぬ。銀行の融資システムと同じで、確実な事業計画がないと支援できない。

○避難所を新たに設置してもらったが、特に冬期間の暖房に関して不安に感じている。

●役場の担当課に確認する。

○高規格道路はいつできるのか。

●国の事業であり、十勝を上げてお願いしてきた。私的な予測だが、10年かかるのでは。国会議員、町長、オール十勝で陳情に行くことが必要と思う。

○町内の臭気の問題だが、役場に話してみたが、法的には問題ないとの回答だったが、地域の課題として考えていく必要があるのではないかと。

●町部局を含め、議会としても委員会等で調査・研究をしたい。



調査地：苫小牧市

出席委員：委員長 小田雅二 副委員長 旗手恵子
松田健司・北藤利通・志村國昭

行政視察

釣り文化振興による地方創生

調査地

苫小牧港

調査日

令和4年10月31日

釣り文化振興モデル港
設置目的の背景・経緯

日本釣振興会から防波堤の開放について苫小牧港管理組合へ相談があった。管理組合としても防波堤の立入禁止規制を強化するより、安全管理を徹底することで、立入禁止としている防波堤での事故を減らすことができると考え、国土交通省が策定した「防波堤等の多目的使用に関するガイドライン」に基づき、防波堤の釣り場開放に向けて協議会の立ち上げ等の準備を進めることとした。



「釣り文化振興モデル港」とは

国土交通省港湾局にて観光資源としての港湾における釣り施設や既存の防波堤等の利活用が進められており、地域の関係者による地方創生を目的とした釣り文化振興の取組が進められている港湾を「モデル港」として募集し、「釣り文化振興モデル港」として指定しているもの。北海道内では苫小牧港のみ。

運営状況

①営業主体

一般社団法人苫小牧港釣り文化振興協会（役員5人、スタッフ12人）

運営時の監視体制…監視員3人、駐車場1人、管理棟常駐1人

②営業期間

令和4年度

4月23日から10月30日まで

の土日祝日

令和5年度

3月1日から10月31日まで

の土日祝日

③営業時間

日の出から日没まで（時期により営業時間の変更）

④利用者数（9月末時点）

2354人（営業日数46日）

⑤イベント

投げ釣り大会（5月）、夏休み親子釣り教室（8月）、一本防波堤解放記念釣り大会（10月）

苫小牧港海釣り施設協議会

協議会は、苫小牧港の防波堤等の港湾施設について、地方創生に資する利活用として海釣り施設の設置を推進するために必要な事項を協議し、関係者間での合意形成を図ることを目的とし

ている。

構成メンバーは、北海道開発局や苫小牧市、海上保安署や消防本部等の関係する官公庁のほか、日本釣振興会や北海道釣魚連盟、釣り具店等の釣り団体、地元漁業協同組合など。



苫小牧港についての説明を受ける

視察を終えて

松田委員

振興団体との連携に取り組み、関連団体との協議を進めれば、実現の可能性はある。実現できれば、町の観光資源のボトムアップにつながり、交流人口の拡大

「苫小牧港における モデル港設置まで」

令和元年7月 日本釣振興会北海道地区支部が
モデル港への応募について相談

→「苫小牧港海釣り施設協議会」を立ち上げ

令和2年2月 釣り文化振興モデル港 2次募
集に応募

令和2年8月 釣り文化振興モデル港に指定
令和2年

～令和3年 釣り場解放へ向けた準備

- ・苫小牧港海釣り施設協議会（各年2回）
- ・安全施設等の整備
- ・試験実釣（各年2～3回程度）
- ・試験開放（各年1回ずつ）

令和4年4月 釣り場として防波堤を開放

行ってきました！ 常任委員会

開放による効果

1. 地元の経済効果
地元である勇払の商店等
の売上げに貢献。
2. 釣り人のマナー向上と
周辺環境の改善
周辺の釣りによるごみが
減少したほか、ゴミ拾い
等が行われるようになった
ことから、周辺環境が
改善されている。
3. コンテナ物流のアピー
ル
コンテナ荷役作業が間近

今後の課題

で見え、コンテナ物流の
アピールにつながることを
期待している。

キッチンカーによる軽食
の提供や自動販売機の設置、
平日の営業や営業時間の延
長、解放前から行われてい
る防波堤基部における釣り
人の対策について、今後解
消していく必要がある。



実際の釣り場を見学

問 災害時（地震、津波等）
における釣り人への危
険回避の手立ては。

答 地震や津波などが発生
した場合、「浸水エリ
ア外」または「津波一時避
難施設」へすぐに避難でき
るよう、予め利用者へ周知
している。危機回避のため
の各種マニュアルを策定し
ているほか、監視員に対し
てマニュアルを徹底し、救
助訓練も実施している。

問 「モデル港」の指定に
向け準備等を進めてき
た中で、様々な課題があっ
たかと思うが、最も困難
であったことは。

答 管理棟について計画当
初はトレーラーハウス
で計画していたところ、新
型コロナウイルス感染拡大
の影響により、入手が困難
になったため固定式とした
が、開発行為の申請や建築
にあたっての接道用件をク
リアするために、通路用地
の確保が必要になってしまっ
たこと。

や経済的波及効果は大きい
と感じている。

実現性の模索を計りなが
ら町民の幸せにつながるよ
うな活動を行っていきたい。

北藤委員

十勝港で取り組むことは
難しい。地震や津波が発生
した場合の危険回避など、
行政と検討しながら議員が
進めるしかない。時間はか
かる。

志村委員

十勝港のどの施設（防波
堤、岸壁）を開放できるの
かが、大きな課題となりそ
うだ。

また、有料開放するため
の管理方法や主体となる管
理団体の設置など検討事項
は多い。

十勝港での釣り人のマナー
改善は喫緊の課題で、港湾
管理者として何らかの手立
ては必要となる。禁止区域
や釣り場の設定の有無も含
め、早々に取り組む課題と
感じた。

雄大な自然と一体化したキャンプ場

調査地

オートリゾート
苫小牧アルテン

調査日

令和4年
11月1日

設置目的と経緯

昭和60年代に入り車社会の高度化、余暇時間の拡大、そしてアウトドアへの志向が高まる中、昭和63年に北海道開発庁が「オートリゾートネットワーク構想」を提唱した。このため苫小牧市も新しいタイプのレクリエーション基地の建設に積極的に取り組み基本構想・基本計画を策定した。結果、事業は北海道開発庁提唱事業の第一号として進められ、公園面積236ヘクタールのうち45ヘクタールをオートリゾート開発地域とした。

「オートリゾートネットワーク構想とは」

北海道の特性を生かして、清潔で安全、快適に過ごせる本格的なオートキャンプ場を核とする複合的なレクリエーションと交流の拠点を全道に整備し、それぞれを高速交通網を始めとする多様なネットワークで結びつけることにより、高度化する車社会に対応した新しいリゾートを北海道全体に展開しようとするもの。

入場者数

この3か年は3万8000人、3万6000人、そして今年では過去最高の4万9400人の来場者数となる予定。来年は、自動車メーカーによる貸切も予定しているとのこと。

広大な敷地内の建物やサイトの状況をつぶさに見て歩くことができ、北海道有数のキャンプ場であることを実感した。また、当日は温泉利用の来場者も多く見受けられ冬場の閑散期をものもしない力強さを感じた。



視察を終えて 委員のひとこと

小田委員長

本町ではキャンプ場の再検討の動きもあり、参考になると考え視察した。アルテンと比較すると、

広さや立地性は良くないと思うが、サンタランドという独自性をもちえるキャンプ場は可能かと思う。実現に近づけるよう、活動していきたい。

旗手副委員長

第三セクターが運営する通年営業のキャンプ場を視察。アルテンは充実した設備のログハウスや利便性が良く快適なバンガローなど目的に合わせて選べる。オートキャンプ場は検討する必要があると思う。

各常任委員会の所管する事務事業

【総務常任委員会】

総務・企画・住民・保健福祉の各課、出納室、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、国保病院、教育委員会、公平委員会、選挙管理委員会、監査委員の事務

【産業常任委員会】

農林・水産商工・建設水道・港湾の各課、農業委員会の事務



見た！
聞いた！

考えた！



常任委員会所管事務調査

総務常任委員会

出席委員：委員長 前崎 茂 副委員長 萬亀山ちず子

浜野 隆・渡辺富久馬・山谷照夫・堀田成郎

調査日 令和4年11月2日

介護保険事業計画・障害者計画 の進捗状況は

特定非営利活動法人「の一まひろお」の現地視察を行い、事業内容や施設運営について小林所長から説明を受け、各計画については町から説明を受けた。



事業内容を視察する委員

介護保険事業計画

「3年を1期」として策定し、令和3年度から令和5年度までを第8期として、団塊の世代が後期高齢者となる令和7年及び現役世代が急減する令和22年を見据えた人口推計から、介護需要に対する基本理念を掲げて、計画的に取り組んでいるとのこと。

基本理念

- 1 まち全体で健康寿命を延ばし、自分らしい生活を人生の最期までおくることができる広尾町
- 2 多様なネットワークを築き、見守り・支えあえる広尾町
- 3 医療や介護が必要となっても療養・ケア・暮らしの場所について、誰もが選択と意思決定ができる広尾町

地域密着型サービス

令和3年度の「地域密着

運営における課題と町の対応

「ゆうゆう舎」が運営する3事業において、将来的に利用者が町外の施設、事業所に移籍するなど利用者減に伴う介護報酬額の減少が見込まれる。また、職員が高齢化しているために、新たな人材確保が必要となってくるが、給与面における処遇改善が課題である。

町としては、当該事業所の職員給与の処遇改善にかかる費用について財政支援を検討中。

広尾町障害者計画

現地視察「の一まひろお」

事業内容と利用者数

・生活介護（4人）

自立して日常生活ができるよう、創作的または生産活動の機会を提供する。

・就労継続支援B型（19人）

就労の機会を提供するとともに、生産活動の機会を通じてその知識・能力向上のために必要な訓練を行う。

・放課後等デイサービス（6人）

放課後等安全に生活できるよう生活支援または余暇活動を提供する。

問

旧林業振興センターから現在地に移転したことで、町民と利用者の触れ合う機会は増えたのか。

答

町が委託する「地域活動支援センター事業」で町民と触れ合う機会を設けている。新築移転した大きな目的は、地域におけるふれあいであることから、現施設を活用したイベントの開催など、新たな形で地域との交流が深まることを期待している。

次のページは
「議員の自己評価」

議員活動の 自己評価

5つの項目を
4段階で評価しました

- ① 議会の会議（本会議、委員会、議員協議会など）や研修の出席
- ② 議会の会議（本会議、委員会、議員協議会）での発言
- ③ 議会、委員会で実施した研修（視察）や講演動画等の活用
- ④ 議会モニター会議など、議会改革の取り組み
- ⑤ 個々の議員活動全般

※ 議員活動の抱負

広尾町議会基本条例では、「議会は町民に対し、議員の活動を的確に評価ができる情報を提供する。」と定めています。

議員個人が1年間どう考え、どう活動したかについて自己評価を行い、その結果を広く町民に知らせることは、町民が議会、議員に対し、的確な評価を下す大きな材料となり、議会の透明化を目指す上での一つの手段になると考えます。

そのことから、令和4年の活動について、「議員個人の活動にかかる自己評価」を実施しましたので、結果をお知らせします。

《各項目の評価基準は以下のとおりです》

出席

- ・ 会議や研修の出席状況はどうだったか。
- ・ 正当な理由がない欠席はなかったか。

発言

- ・ 一般質問、審議・審査の質疑、討論などで自分の考え、意見を発言したか。
- ・ 発言の論点ははっきりしていたか。また、簡潔明瞭な発言だったか。

研修等

- ・ 明確な目的をもって参加したか。
- ・ 研修（視察）や講演動画等で得たことを、その後の活動に生かしたか。

議会改革

- ・ 事業の実施にあたって、真摯に全力で取り組んだか。
- ・ 事業を実施して得たことを、その後の活動に生かしたか。

議員活動

- ・ 町民の意見を広く把握し、町政の課題へ的確に反映させたか。
- ・ 報告事項や提出書類を期限内に報告・提出できたか。

評価は4段階

- 4－よくできた
- 3－概ねできた
- 2－あまりできなかった
- 1－できなかった



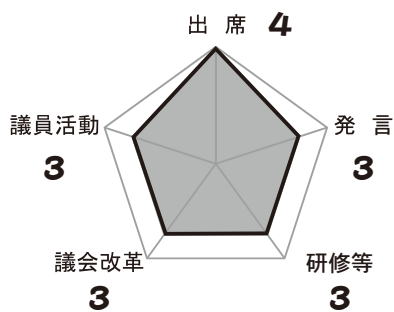
はまの たかし
浜野 隆



69歳

当選2回

- ・総務常任委員
- ・議会運営副委員長



出席	会議や研修は全て出席できた
研修等	研修等で得たことを今後に生かしたい
議員活動	町民の意見や要望に応えるよう努めた
抱負	町民一人ひとりが楽しく暮らせるよう、頑張りたい

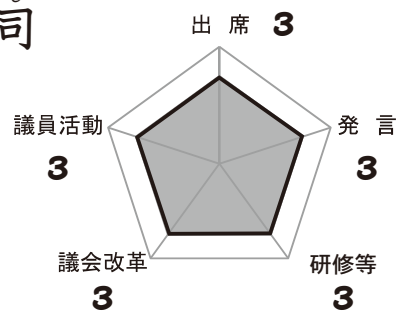
まつだ けんじ
松田 健司



53歳

当選1回

- ・産業常任委員



発言	一般質問や審議・審査の場で、積極的に発言ができた
研修等	先進的な取組をしているキャンプ場や釣り場の視察を行い、議員活動に生かすことができた
議会改革	議会モニター会議や議会報告会を通じ、多様なご意見をいただき議員活動に生かすことができた
抱負	今年行ってきた議員活動を元に、新型コロナとの共生社会に向け町民の健康と生活の活性化に貢献できるように、議員活動を行っていきたい

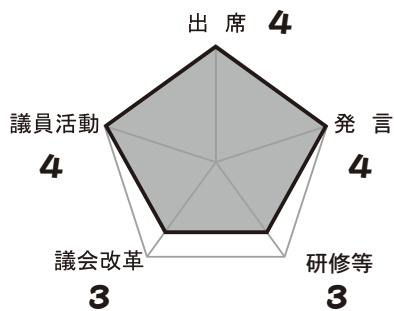
まえざき しげる
前崎 茂



73歳

当選4回

- ・総務常任委員長
- ・議会運営委員
- ・南十勝複合事務組合議会議員



発言	町民要望や町の課題について一般質問をし、予算・決算委員会等でも積極的に質疑をした
議会改革	議会報告会やモニター会議での意見等を基に議会改革及び開かれた議会を目指すことに励んだ
議員活動	平素から新聞等のマスメディアの情報収集に努め、一般質問や委員会等の発言に活用した
抱負	他町村の先進事例をストックし、住民福祉の向上や少子高齢化に係る事案を提案してきた。住民要望等を広く収集することに励み、今後も現場主義を推進したい

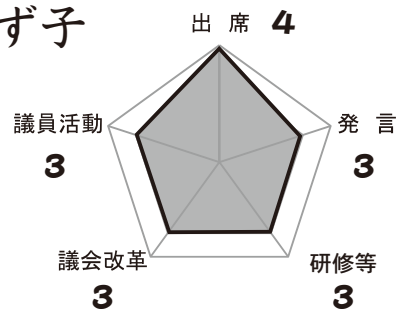
まきやま こ
萬亀山ちず子



73歳

当選2回

- ・総務常任副委員長
- ・議会運営委員



出席	研修は全て参加し、レポートも提出できた
発言	簡潔な発言に努めた
議員活動	町民の安心安全を守るため行政に届けてきた
抱負	コロナ禍で自分は思うように活動ができなかったが、制限される中でも自分なりの意見や町民の意見が町政に反映されるよう努める

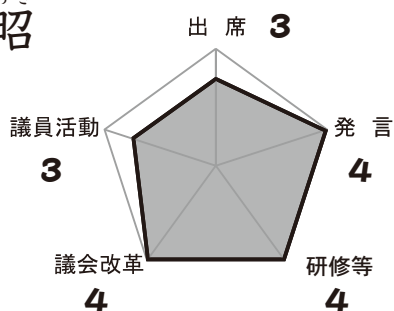
※年齢、所属委員会は2月末日現在

しむら くにあき
志村 國昭



72歳

当選3回



- ・産業常任委員
- ・議会広報特別委員
- ・議会選出監査委員

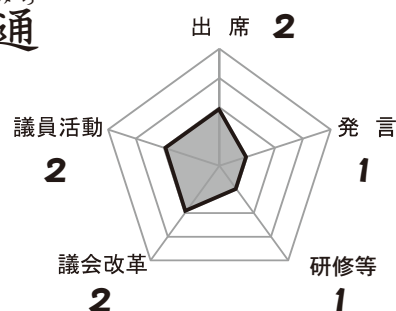
発言	毎回、事前に質問や質疑の内容を精査し、簡潔な発言に努めてきた
研修等	研修を通じて得るところは多く、先進地視察で得たことを町づくりに生かせるよう努力したい
議会改革	議会報告会では、丁寧な報告と質問に対する説明ができた。暮らしの中での諸問題や議員定数等の意見聴取に努めた
抱負	この町で暮らし続けるための考えや要望を町政に届けることが議員の仕事と更に強く認識している。コロナ禍で活動に多少の影響は感じてきたが、より多くの意見や要望を拝聴したい

きたふじ としみち
北藤 利通



70歳

当選3回



- ・産業常任委員
- ・議会広報特別委員長
- ・南十勝複合事務組合議会議員

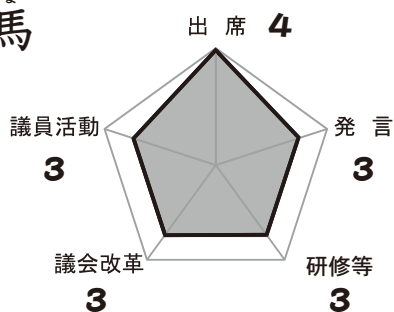
発言	意見を述べることはできなかった
議会改革	モニターからの意見は町長に向けたことであって、議員としての意見を申すものではないと思った
議員活動	色々な事情があつてできなかった
抱負	新型コロナの猛威の中で、自己や町民の感染防止に向けた対策に力を入れていく

わたなべ ふくま
渡辺 富久馬



81歳

当選4回



- ・総務常任委員
- ・議会運営委員長
- ・議会広報特別委員

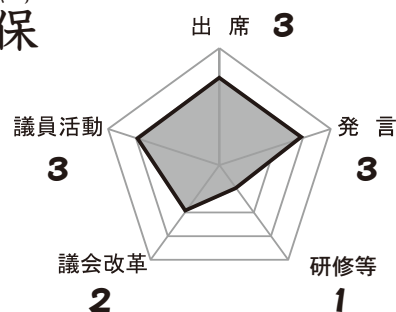
発言	一般質問によって行政を少しでも前へ動かすことができた
研修等	しっかりと目的を持ち、活動に生かすべく努力した
議会改革	コロナ禍により、事業実施に難はあったが、しっかりと取り組めた
抱負	住民との意見交換や情報収集によって、何が求められているかを知る事ができた。来年は、より高くアンテナを伸ばし、住民要望を的確に把握し、どう行政に生かすかを追求して行きたい

ほしか ひろやす
星加 廣保



85歳

当選5回



- ・産業常任委員
- ・議会運営委員
- ・議会広報特別委員

出席	欠席はあったが、おおむね出席できた
議会改革	議会報告会は欠席したが、町民にとって身近な議会となるよう取り組んでいく
議員活動	これからも日々議員活動に努力する
抱負	視察など出席できなかったが、町民の負託に応えられるよう頑張りたい

はたて けいこ
旗手 恵子

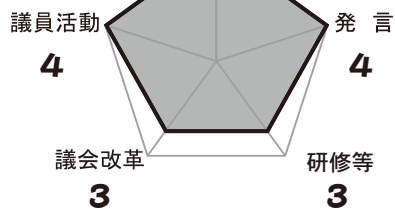


75歳

・産業常任副委員長

当選12回

出席 4



発言	自分の考え、意見を発言できた。“論点ははっきり”と心がけている
議会改革	コロナ禍で制約はあったが、住民の福祉向上のために心がけて活動した
議員活動	町民の声を聴くよう日頃から努めている。報告事項や提出書類は期限内に提出できた
抱負	議会報告会等で日頃お会いする事のない方ともお話ができ、勉強になりました。来年に向け、先進地での取組等も参考にしながら、本町で取り組める事例等を発言していきたい

おだ まさじ
小田 雅二

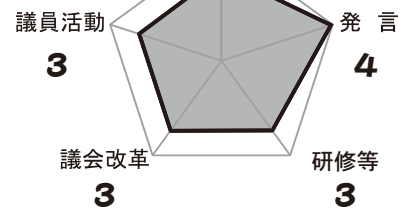


72歳

・産業常任委員長

当選7回

出席 3



発言	論点、明瞭性についての評価は議事録等の読み返しをすることで補いたい
研修等	研修や視察を行う前に、学習会、勉強会の時間を持つことも場合によっては必要かと思った
議員活動	コロナ禍で町民との面談や意見交換は制限されたが、メールやSNSである程度は可能だった
抱負	議員間での討論の実施及び各議員の所持するタブレットの有効活用（ペーパーレス化等）に取り組みたい

ほりた しげお
堀田 成郎

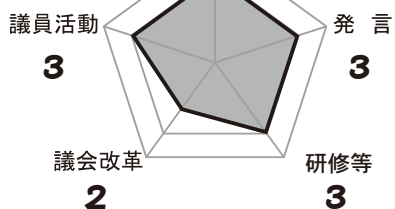


56歳

・議長
・十勝圏複合事務組合議会議員
・とかち広域消防事務組合議会議員

当選4回

出席 3



発言	議長としての発言に終始したが、ポイントを押さえた発言、会議の進行はスムーズに行えたと感じる
研修等	3年振りの開催が多かったが、実際の発言に生かされるなど実りも多かった
議会改革	ここにきて、改革に対する動きがマンネリ化してきたように感じる。新たな形を探りたい
抱負	議会の建設的な運営もさることながら町長部局の提案に対して具体的な対案をもつての議論と議決があって当然であり、そのための調査や研究の精度を上げて、議会の資質向上につなげたい

やまや てるお
山谷 照夫

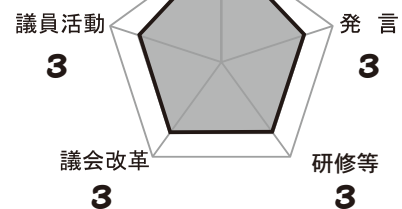


77歳

・副議長
・総務常任委員
・議会運営委員
・議会広報特別副委員長
・とかち広域消防事務組合議会議員

当選4回

出席 4



発言	一般質問はできなかったが、論点の明確化、簡潔明瞭な発言に心掛けた
議会改革	議会モニター会議や議会報告会には真摯に取り組んだ。得たことを議員活動に生かすようにしている
議員活動	町民の意見や要望の把握と反映に努めた。報告事項や提出書類は期限内に報告・提出できた
抱負	コロナ禍にあって不本意な活動の1年であった。本年は、町民の皆さんとの意見交換において、意見や要望を把握し、「行政を少しでも動かすため」の一般質問ができるよう取り組みたい

令和4年は何をした？

議会改革



継続は力なり

令和4年1月から12月までの1年間に取り組んだ主な議会改革は次のとおりです。



3年ぶりの開催となった議会報告会

議会報告会

議会・議員活動や議会での審議内容を議員自らが町民に説明する「議会報告会」を開催しました。

町内3会場でを行い、参加者は33人でした。主に「議員定数及び報酬等」や「第6次まちづくり計画」をテーマに意見交換を行いました。
※P14・15に関連記事

高校生との交流

議員が広尾高校を訪問し、高校生議会で一般質問をする内容のアドバイスをなどを行いました。

※新型コロナウイルスの感染拡大により高校生議会は中止となりました。

議会モニター

議会の運営等に関し、町民からの要望や意見を聞くため、議会モニターを10人委嘱（定員12人、委嘱期間2年）しています。
モニター会議を1月と10月に開催しました。
※P11に関連記事

議会情報の公開

次のことについて、議会広報や町ウェブサイトで公開しています。

①議案賛否

人事案件を除く賛否のあった議案について、議員の賛否。

②議員の出欠状況

本会議、各委員会、研修等における各議員の出欠状況。

③議会活動状況

「本会議開催状況」「付議事件・議決結果（件数及び件名）」「一般質問」「意見書」など。

会議録の公開

町ウェブサイトで本会議、予算・決算特別委員会の会議録を公開しています。（公開時期は各会議の約3か月後）

ネット中継

インターネットの映像配信サービス（YouTube）を利用して、本会議又は本会議場で開催される委員会の生中継、録画中継を公開しています。

自己評価

議員活動を自己評価し、その結果を議会広報に掲載して町民に周知しました。
※P20～23に関連記事

レポートの提出

議員研修に参加した議員は、事後レポートを提出し、町ウェブサイトで公開しています。

議会懇談会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自粛しました。



広尾町議会独自研修会（令和4年10月26日）



令和4年 広尾町議会の活動状況

※令和4年1月～12月

1. 本会議開催状況

	回数	会議日数	付議事件数	傍聴者数
定例会	4回	14日	112件	6人
臨時会	4回	4日	48件	0人
合 計	8回	18日	160件	6人

2. 付議事件数・議決結果

(単位: 件)

区分	提出者	種類・件数		議決結果・件数	
定例会	町長	条 例	18	原案可決	18
		予 算	44	原案可決	44
		決 算	10	認 定	10
		人事案件	4	同 意	4
				適 任	
		契 約	2	原案可決	2
		専決処分	1	承 認	
		報 告	1		
	そ の 他	12	原案可決	6	
			報 告	6	
	小 計		91	小 計	91
	議 員	条 例			
		意 見 書	10	原案可決	10
		規 則			
		そ の 他	7	原案可決	3
				当選・互選	2
				その他	2
	小 計		17	小 計	17
	委員会	条 例		原案可決	
		規 則		原案可決	
そ の 他		4	原案可決	4	
小 計		4	小 計	4	
定例会 計			112		112
臨時会	町長	条 例	10	原案可決	10
		予 算	17	原案可決	17
		人事案件			
		契 約	2	原案可決	2
		専決処分	14	承 認	7
				報 告	7
	そ の 他	1	原案可決	1	
	小 計		44	小 計	44
	議 員	条 例			
		そ の 他	4	原案可決	4
	小 計		4	小 計	4
	委員会	そ の 他			
臨時会 計			48		48
年 間 件 数			160		160

3. 一般質問

区 分	定例会				延べ 人数	実 人数
	第1回	第2回	第3回	第4回		
質問者数	5人	4人	3人	4人	16人	5人

4. 委員会開催状況

委員会名		会期中	閉会中	計
総務常任委員会		1日	3日	4日
産業常任委員会		1日	4日	5日
議会運営委員会		3日	4日	7日
特別委員会	予 算 審 査	3日	日	3日
	決 算 審 査	3日	日	3日
	議 会 広 報	1日	12日	13日
	議員定数等調査	日	1日	1日
合 計		12日	24日	36日

5. 研修・視察活動

①議員研修会

日程	参加人数	研修地	内 容
7/6 ～7	8人	札幌市	北海道町村議会議長会主催 講演「参院選最終情勢分析と選 挙後の政局展望」
7/20	8人	芽室町	芽室町・広尾町議会議員研修・ 交流会 「住民参加の新たな視点と手法 とは」
10/3	9人	中札内村	南十勝町村議会議員研修会 「行政を動かす一般質問のポイ ント」
10/26	10人	広尾町	広尾町議会議員等研修会 「議会改革と議員定数・報酬等 のあり方～「住民自治の根幹」 としての議会の作動～」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、北海道町村議会
議長会主催の議会広報研修会は中止となりました。

②常任委員会行政視察

区分	日程	参加者	視察先	内 容
産業	10/31 ～ 11/1	委員 5人	苫小牧市	釣り文化振興モデル港の運 営状況について オートキャンプ場の施設及 び運営状況について

※総務常任委員会は行政視察をせず、町内で所管事務調査を
行いました。

6. 意見書の可決状況

区 分	定例会				合計
	第1回	第2回	第3回	第4回	
可決件数	2件	5件	2件	1件	10件

議会活動日誌

令和4年12月～令和5年2月

【12月】

- 1日 第7回議会運営委員会
- 3日 広尾町生涯学習まちづくりセミナー
- 6日 第4回広尾町議会定例会（～9日）
第15回議員協議会
- 9日 議会広報編集会議
- 11日 長崎県西海市との懇親会
- 19日 十勝町村議会議長会議長研修会（帯広市）

【1月】

- 3日 はたちのつどい
- 4日 広尾町消防団「新年出初式」
広尾町新年交礼会
- 19日 行政懇談会・新年交礼会（帯広市）
- 26日 交通安全署名奉納及び交通安全祈願祭
- 27日 第1回議会運営委員会
- 29日 北海道議会議員 喜多龍一と新春道政を語る会
- 30日 第1回広尾町議会臨時会
第1回議員協議会
第2回議会モニター会議（2班）

【2月】

- 1日 議会広報編集会議
- 5日 広尾町アイスストッカー大会
- 9日 第1回産業常任委員会

- 10日 第1回議員定数等に関する調査特別委員会
第1回議会広報特別委員会
- 13日 第1回総務常任委員会
- 15日 議会懇談会（地域おこし協力隊・全議員）
大樹町議会議員との研修・交流会（大樹町）
- 17日 第2回議員協議会
十勝町村議会議長会定例会（帯広市）
- 18日 自民党第11選挙区支部2023政経セミナー（帯広市）
- 21日 とかち広域消防事務組合議会定例会（帯広市）
十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）
- 22日 南十勝複合事務組合議会定例会（大樹町）
- 24日 第2回議会運営委員会

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、令和5年第1回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①防災行政（避難所運営、防災公園整備構想等）について

◇産業常任委員会

- ①ふるさと納税事業の現状と課題について

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

～ 議会だよりのレイアウトを変更しました ～

205号より、議会だよりのレイアウトとフォントを変更しました。

これまで、6段組みで紙面を構成していましたが5段組に変更し、UDフォント（ユニバーサルデザインフォント）を導入しました。UDフォントとは、多くの人に分かりやすく、読みやすいように工夫されたフォントです。

今後も議会の事が分かりやすく、見やすい広報づくりに努めていきます。

【明朝体】

旧フォント

あいうえお

1 2 3 4 5

6 7 8 9 0

【明朝体】

新（UD）フォント

あいうえお

1 2 3 4 5

6 7 8 9 0

【ゴシック体】

旧フォント

あいうえお

1 2 3 4 5

6 7 8 9 0

【ゴシック体】

新（UD）フォント

あいうえお

1 2 3 4 5

6 7 8 9 0

広尾町議会から町民の皆様へお願いします

①議場ではマスクを着用し、出入りの際には手指の消毒をしてください。

②傍聴席では間隔をあけてご着席ください。

③体調が良くないときは、傍聴をお控えください。

※町ウェブサイトから議会中継を見ることができます。

過去の
録画中継も
見れるよ



町ウェブサイト
「議会インターネット中継」
QRコード